YONEMORI TIMES
Vol.92 2025.4.10 発行



金曽 宏昭

株式会社石川検査　技術部

株式会社ヨネモリのグループ会社である、株式会社石川検査に所属する金曽宏昭。今年で入社9年目を迎え、現在は技術部で鉄筋ガス圧接部の超音波検査や、鉄骨溶接部検査を担当している。これまでの経験について話を聞きながら、金曽の仕事に対する思いを探る。

異業種からの転職を経て

前職では繊維機械のエンジニアとして働いていた金曽。縁あってヨネモリへと入社し、石川検査の仕事に携わることになった。これまでとは異なる業務に戸惑う日々。先輩社員と一緒に現場に足を運び、知識やスキルを懸命に学んだ。最初は小さな現場で経験を重ね、徐々に大きな現場にも対応できるようになっていく。仕事への手応えを感じられたのは、入社して4年が経った頃だった。

なかでも印象深く覚えているのは、工場の鉄骨の検査だ。当時の金曽にとっては、まだ経験したことがない大きな現場で、作業期間は約半年間。自分の経験で対応できるのか不安を感じたという。特に気がかりだったのは、現場の方々とのコミュニケーション。前職ではエンジニアとして一人黙々と作業をしていたため、コミュニケーションには自信がなかった。しかし、検査をする上で関連業者とのやり取りは必要不可欠。思い切って挑戦するしかなかったという。

「慣れない現場でいろいろなトラブルもありましたが、先輩方にアドバイスをいただきながら、無事に終えることができました。この挑戦で大きな達成感が得られ、自信にもつながりました。今でもその現場の近くを通ると感慨深い気持ちになります」。

失敗からの学びを活かす

順調に経験を積んできた金曽にも、失敗した経験がある。それは、北陸新幹線の延線工事の現場で、鉄筋ガス圧接部の検査をしたときのこと。検査を行うために現場へ向かったところ、なぜか鉄筋周りにすでにコンクリート用の型枠が組まれてしまっていた。このままでは検査ができない。緊急事態に陥ったが、最終的に監督と一緒に大工さんに頭を下げた。大工さんからは厳しいお叱りを受けたが、一度組まれた型枠をすべて解体してもらい、検査作業を行うしかなかった。

今思えば、事前に業者間でのコミュニケーションが上手く取れていなかったのが、ミスの原因だったと振り返る。この経験により、コミュニケーションの大切さを痛感したのだ。それからは失敗からの学びを次に活かすように努めた。当時の大工さんとは、現在でも顔を合わせることがあるが、「そういうこともありましたね」と、互いに笑って話せるような関係を構築できている。失敗に真摯に対応した経験が今、実を結んでいるのだ。

周囲の人々に感謝する日々

働いていると、上手くいくときもあればそうでないときもある。しかし、不調のときに支えてくれる人たちがいるのが、ヨネモリの魅力だと金曽は語る。

「現場では一人で検査をする分、責任感を持って取り組まなければなりません。そのため、プレッシャーを感じるときも多々ありますが、いつも先輩方が声をかけてくれたり、親身になって相談にのってくれたりしています。ミスに対してもみんなでフォローする文化がある。ヨネモリも石川検査も優しい方が多く、いつも感謝しています」。

前職では一人で仕事をする時間が長かった分、周囲の人の存在やその助けが身に染みる。そのような職場環境も相まって、入社当時に抱えていたコミュニケーションに対するコンプレックスも、今では少しずつ克服できてきたと実感している。

次なる目標に向かって

直近の目標は、資格取得だ。現在保持しているのは、超音波探傷試験のレベル2と浸透探傷試験のレベル2。今後は磁粉探傷試験、放射線透過試験への挑戦も視野に入れている。家庭と試験勉強の両立に苦戦しつつも、合格して少しでも早く先輩たちに追いつきたいと考えている。

もう一つの目標は、「非破壊検査」について、若い世代にもっと知ってもらうことだ。あまり聞き馴染みのない仕事であるため、次の担い手が入ってきにくいという現状がある。「非破壊検査」の重要性を次世代にも伝え、ゆくゆくは業界全体の活性化へとつなげていきたいと思っているところだ。

誠心誠意仕事に取り組み、自分の可能性を広げるべく、努力を重ねていく金曽。その姿勢は、やがて会社の未来をも切り拓いていくだろう。今後の活躍から目が離せない。



企業情報

- ◆創 業 年：1918 年 5 月（大正 7 年）
- ◆設 立 年：1968 年 5 月（昭和 43 年）
- ◆年　　商：7041 百万円（令和 6 年 3 月）
- ◆従業員数：114 名（令和 6 年 3 月）

金曽さんへのメッセージ

金曽さんについてさらに深掘り！
日頃一緒に働く方々に、金曽さんの印象や、メッセージを伺いました。



石川検査 技術部 課長
下道（したみち） 雅仁（まさひと）さん

思い出エピソード

金曽さんはとても謙虚な人柄。私より年上ですがすごく優しく、柔らかい口調で、どうでも良い会話に合わせてくれます。「ど〜も！」と言っている金曽さんに毎日癒されています。

Message

前職とは全く違う職種で勝手がわからなかったと思いますが、金曽さんから質問してくださりとても助かっています。頼りない私ですが、これからもよろしくお願いします。



石川検査
林（はやし） 誠司（せいじ）さん

思い出エピソード

いつも自信がなさそうにしているため、よく「イケるイケる、大丈夫！」と発破をかけてしまいます。しかし、なんだかんだと要領良く業務をこなしている印象があり、もっとイケそうな気がします（笑）加賀東芝の現場では本当に助かりました！

Message

いつもニコニコ笑顔でいてくれてありがとうございます！金曽さんがいるからこそ成り立っている部分もあるため、これからもよろしくお願いします！

ヨネモリの バック部門に クローズアップ！

関東工場の皆さん、「事務所内がいつの間にかきれいになっている」と感じたことはありませんか？それはきっと、細やかな気配りで美化に努めている日向野さんのおかげ。
そして、１人で多岐にわたる事務作業をこなす石川検査、総務部の牧野さん。現場の皆さんが安心して業務に集中できるよう、日々裏方として支え続けています。その仕事ぶりと、努力の裏側を伺いました！

関東工場

総務部
日向野（ひがの） 綾美（あやみ）さん



担当する業務

関東工場の総務・事務担当

私が担当しているのは、関東工場の事務全般。もともと派遣社員としてスタートし、2023年12月からアルバイトとして直雇用になりました。在籍期間は2025年で丸３年。本来は２名体制ですが、現在もう一人がお休み中のため、私が一人で事務を担っています。
具体的な業務は、本社の総務でしか対応できない業務を除いた日報の処理、書類作成と確認、試験の申請、室内の清掃など。例えばお休みの申請を受け取った場合、内容を確認して問題がなければ、上長の承認をもらった上で本社に送る、という流れで行っています。

業務効率化のための工夫

一度決めたルーティーンは崩さない

日々の業務のメインは日報の処理。毎日皆さんに必ず提出していただく必要があるため、データを入力する前には記入漏れや提出漏れがないかチェックします。入社したばかりの頃は、社員番号や工場の作業番号がまったく頭に入っておらず、処理にも時間がかかっていました。**今は効率を考え、日報を社員番号順に並べてからチェックしています。**こうすることで、漏れがないかの確認がスムーズになり、間違いや違和感にも気づけるようになってきたと感じています。
実は派遣社員として働いているときは、時間短縮や効率化をあまり意識していませんでした。現在は慣れてきたこともあり、時間内にできるだけ作業を終えられるよう、日々の業務においても**優先順位を決めて取りかかります。**スピード感を持って終わらせるためにも、一度決めたルーティーンはできる限り崩しません。やるべきことを先に済ませ、**イレギュラーな業務にも対応できる余裕をつくる**ことも大切にしています。

＼現場の方々を思って／

心がけていること

現場で働く方は男性ばかりで、気づくと女性目線で気になるゴミが溜まっていたり、汚れていたりすることがあります。今は女性が私一人であるため、**業務の合間にこまめにゴミを捨てたり、掃除をしたりしながら周囲の美化に努め、皆さんが気持ち良く働ける環境を整えています。**

現場の方々へメッセージ

工場の皆さんともう少しお話しする機会があれば、申請などのやりとりもよりスムーズになるのではと感じています。工場で使う備品を取りに来るときにも、気軽に声をかけてください。私にできることであれば、可能な限り対応します！





株式会社 石川検査

総務部 主任
牧野（まきの） 多貴子（たきこ）さん

担当する業務

一般の事務作業全般を１人でこなす

請求書や請書に関する支払い管理、石川検査で行う超音波の非破壊検査に必要な資格の申請、報告書類の作成、備品の管理をメインに行っています。
最初は慣れないことが多く、バタバタと忙しい毎日を送っていました。また、総務部は私１人であるため、最も良い方法は何かと模索する日々。現在はあらゆる効率化により、スムーズ良く進めることができています！

業務効率化のための工夫

飛び込みの依頼に対応

基本的に１人で業務を担うため、その日に行う仕事は自分で決めて進めます。
しかし、営業の担当者と一緒に仕事をしている関係で、飛び込みで依頼の仕事が入ることも。依頼があった場合は最優先で対応できるよう、**自分の業務を持ち越さないよう心がけています。**

周辺地域の方々との コミュニケーション

住宅が多く並ぶ場所に事務所があるため「何やってるんや？」「どういう会社？」などと地域の方々が不安に思わないよう、**事務所の美化を強化し、植木の手入れもしっかり行っています。**さらに、地域の方々とお会いしたときは、コミュニケーションをとるよう心がけています。

石川検査の良いところ

助け合いの精神

石川検査の検査員は、自宅から直接現場に出勤し、仕事を終えた夕方頃に事務所に帰社。直接顔を合わせる機会は少ないものの、仕事の話だけではなくプライベートの話題にも日常的に交わるなど、**検査員同士のコミュニケーションが円滑に行われています。**また、誰かが「今日は朝から体調が悪い」と言うと、その情報が共有され「今日は〇〇さんの体調が悪いようだから、手伝いに行こうか」や「早めに帰らせてあげよう」といった配慮がなされるなど、**助け合いの精神がしっかり根付いていること**が感じられます。

＼現場の方々を思って／

心がけていること

ほっとできる環境づくり

私もチームの一員として、皆さんをサポートできる何かがあれば積極的に貢献したいと思っていますが、特に目立ったことはできず……。それでも、事務所をきれいに清掃したりして、皆さんが帰ってきたときに**ほっとできる環境**を整え、快適に過ごせるよう意識しています。

現場の方々へメッセージ

毎日、暑い日も寒い日も外で働いてくださって、本当にお疲れ様です。今日も安全を最優先に、１日頑張ってください。そして、気をつけてお帰りください。事務所でお待ちしています。業界は人手不足ですが、協力し合い、仲良く一緒に頑張っていきましょう！

